

『海外協定校への交換留学を通して』

氏名：川路幸愛

所属：国際文化学部・国際文化学科・2年

派遣留学先：培材大学（韓国）

派遣留学期間：2024年8月～（1年間）

私は2024年8月から2025年6月まで、韓国の培材大学に交換留学生として留学しました。留学の目的は、韓国語能力を伸ばすとともに、現地の大学教育や文化を実際に体験し、理解を深めることでした。

培材大学では、少人数のグループ発表型授業や講義形式の授業など、多様な学びの形がありました。授業は韓国人学生だけでなく、他国からの留学生と一緒に韓国語で受けることが多く、異なる背景を持つ学生同士で協力しながら学ぶ貴重な経験となりました。留学後半には、韓国人と日本人が交流するサークル「ピカピカ」で役員を務め、翻訳活動を通して多くの人と関わる機会を得ました。言語や文化の違いを超えて意見を交わすことにより、相互理解の大切さを改めて実感しました。発音の違いから意思が伝わりにくいこともありましたが、やり取りを重ねるうちに少しずつ意思疎通が取れるようになりました。現地の学生は皆親切で、互いの文化や考え方を共有する中で、多様な価値観に触れることができました。

今回の留学を通して、語学力だけでなく、人と向き合う姿勢や異なる背景を尊重する大切さを学び、自分のこれからの学びや進路を考えるうえで大きな糧となりました。

